

NJ 補習授業校移転推進委員会議事録

日時：2007年5月12日 午前9時半～11時

場所：NJ 補習校会議室

出席者：岸 NJ 学校運営委員会委員長、川西 NJ 補習授業校校長、安田 NJ 日本人学校校長、
島国際交流ディレクター、斉藤父母の会会長、ラハリ同副会長、富田事務局長

1. 【事務局より経過報告】

4月7日(土)に行われた保護者への説明会にあった通り、Harrington Park(H.P.) School を第一候補とし、「4月末に先方の承認が得られること」を目標に移転に向けた作業を進めてきた。

4月12日(木)の H.P.の Board of Education Meeting の翌週初めに、電話にて教育長の Dr. Fried に「H.P. School を NJ 補習校として賃貸することの承認」を得ることができたか尋ねたところ、「H.P.の教育委員会では Board Member 5人、全員の承諾が必要だが、5人の内、直ぐに肯定的な返事を得られたのは3人だけだった。残りの2人は『少し慎重に考えたい』ということで直ぐに返事は得られなかった。しかし、今週中には全員の同意が得られると思う」という回答だった。

4月16日の週に2回、電話してメッセージを残したが返事はなかった。更に、4月23日の週にも何回か電話したが、教育委員会の関係者は誰も電話に出なかったため、またメッセージを残した。しかし、その週も返事はなかった。

5月3日(木)に次の Board Meeting が予定されていたので、その翌日及び5月7日の週にも2回ほど電話をしてメッセージを残したが、昨日(金)まで何の返事もなし。

岸委員長：インターネットで閲覧可能な H.P.の Board Meeting の議事録を見る限り、4月12日、5月3日ともに Board Meeting が開催されてはいるが、本件は議題として取り上げられていない。

2. 【今後の取り組みについて】

(1) H.P. School は、補習校として賃貸できる可能性のあった4校を様々な観点から慎重に検討した上で第一候補校に決定された。

しかしながら既に5月中旬でもあり、このままでは、万が一 H.P.の承認が得られなかった場合に8月下旬からの授業を行うための校舎が無い恐れがある。最悪の事態を避けるためには、時間的な制約も考えると出来るだけ早く何らかの手を打たなければ手遅れになりかねない。具体的には、第二候補校、もしくは念の為に、別な学校とも賃貸交渉を開始する必要があると考える。

従って、5月17日(木)に開催予定の H.P.の Board Meeting の日までに承認の回答が得られない場合は、第一候補と決定して交渉を行ってきた H.P. School を他の候補校と同列に扱い、他の候補とも同時に契約交渉を進めていくこととする。

但し、5月17日を待たずに、可能なことはしていくこととし、現補習校の大家 Paramus Catholic H.S.とも契約延長の可能性がないか、再度、コンタクトしてみることも含めて、他の候補校の追加情報収集等を進めていく。

(2) スクールバスについてのアンケートは何処へ移転することになるかによって必要な内容が変わってくるため、H.P.に移転する目処がついた場合は5月中に移転推進委員会が中心になって実施する。

(3) H.P.の承認が得られなかった場合、必要に応じ再度補習校保護者への説明会を開くことも検討する。

以上